

形成外科

I. 研修プログラムの目的及び特徴

形成外科学は、身体全域の形態の再建を扱うため、これに必要な基礎的知識、診断学及び治療技術について知るとともに、医師としての社会的責任及び役割を認識し、チーム医療に貢献できる医師を育成する。

この研修プログラムを実践することで、

1. 形成外科の対象疾患を知ることができる。
2. 形成外科で行う治療法を知ることができる。
3. 皮膚及び創の取り扱い方に対する形成外科的基本概念を知ることができる。

II. 募集定員

1名

III. 研修期間

基本的に1か月 それ以上は要相談

IV. 研修内容と到達目標

一般目標

形成外科の対象疾患について知る。

行動目標

A. 経験すべき診察法・検査・手技

(1) 基本的な診察法

- ① 基本的な皮膚良性腫瘍の診断、顔面外傷の評価、褥瘡の評価
- ② 顔面骨骨折のX-P、CT読影

(2) 基本的手技

- ① 皮膚切開
- ② 形成外科的皮膚縫合法
- ③ 褥瘡のデブリードマン

(3) 基本的治療法

- ① 創傷処理
- ② 術後創の処理
- ③ 包帯法
- ④ 皮膚縫合法

(4) 医療記録

B. 経験すべき症状・病態・疾患

- ① 皮膚損傷・褥瘡
- ② 顔面外傷
- ③ 基本的な皮膚良性腫瘍

V. 週間スケジュール

曜日	午前	午後
月曜日	病棟、局麻手術	局麻手術、病棟
火曜日	病棟、外来	病棟、褥瘡回診（隔週）
水曜日	全麻・腰麻手術	全麻・腰麻手術、病棟、褥瘡回診（隔週）
木曜日	外来	病棟
金曜日	外来	病棟

VI. 評価方法

指導医により、各到達目標に対する評価が行われる。